

ヨコハマ市民まち普請事業

第1次整備提案書



※ 記入上の注意

- 2号様式はページを増やさず、必ず6ページ以内でまとめてください。
- 2号様式は市民に公開しますので、個人が特定できる情報は記入しないでください。
- 整備提案審査委員会には、白黒コピーを配付しますのでご注意ください。
- 資料をA4判2ページまで添付することができます。その場合、添付資料の左側に15mm以上余白を確保してください。

1 整備提案の概要について

整備提案名 (25字以内)	自分たちの手でまちづくり～遊歩道と憩いの場
提案グループ名 (25字以内)	青葉 奈良エコチーム
整備場所の所在地 (町名又は丁目まで記入)	青葉区奈良3丁目
整備場所の位置 (整備場所周辺の 地図をはり込んで ください)	

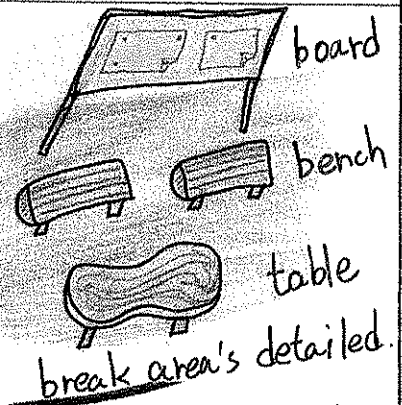
<p>整備提案の概要 (どのような整備を提案するのか簡潔に記入してください)</p>	<p>青葉区奈良に残る貴重な原風景を、地域住民やこの自然を愛する人々が気軽に楽しみ、その豊かさを感じられる整備を図ります。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 水辺観察など自然と触れあうための遊歩道の設置。 2 コミュニティースペースの設置。
<p>整備提案の動機や背景 (整備に対する地域のニーズや整備によって解決したい地域の課題、整備の必要性などに触れながら箇条書きで記入してください)</p>	<p>我が青葉区奈良地区はこどもの国の豊かな緑にほど近い、横浜市都市計画のマスタープランに指定されている緑の7大保全拠点の一つに位置します。しかし、近年の都市計画により宅地化が進み、自然環境や緑地が縮小してきているのが実情です。</p> <p>幸い、地主や農家の方々のご努力により横浜の原風景である谷戸(里山)が残されており、横浜市も市民の森や緑地保全地区としての保全を計画しています。また隣接して熊ヶ谷小川アメニティもあります。</p> <p>そこで、市民がこの貴重な原風景や自然を守り、共存していく場を自分たちの手で作り上げていきたいと思い提案しました。</p>
<p>整備したい施設がどのような人たちに利用され、地域にどのように貢献すると考えますか？</p>	<p>この自然を愛する人々においてこの仕組みは自然環境に負荷をかけずに触れあえる新たな接点となります。</p> <p>例えば、子ども達においては授業の一環として水辺生物の観察や高齢者や障害者においてはアクセス環境を整備することで自然に触れ感じる機会を提供できます。</p> <p>また、地域住民だけではなく、横浜市北部、東京都町田市といった近隣地域の人々においても広く利用されることが想定されます。</p> <p>鶴見川流域の希少な水と緑、豊かな生き物、横浜の原風景の谷戸(里山)など、自然にあるものをそのままに楽しむ場所として、多くの人に親しまれることが期待できます。</p>

2 整備提案の具体的な内容について

整備場所の現在の状況を写真等で示すとともに、具体的な整備の内容について文章やイメージスケッチ等で表現してください

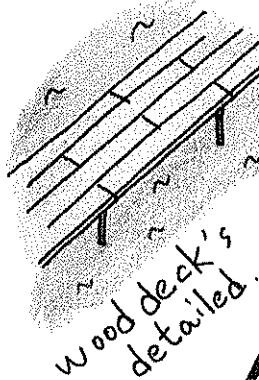


現在の様子



コミュニティーゾーンには、
原風景を一望できる休憩
ゾーン機能の他に、世代間
交流や軽作業のできる
ベンチ・テーブルを設置。

掲示板には、
地域情報の
発信源を
期待!!



総工事費(概算) 約 500 万円

break area

water area

green area

水面から
若干浮かした
木製遊歩道は
バリアフリー設計!!
原風景をさらに
間近で体験できる
こと間違いなし!!
見た人が一度は
通ってみたい様子
親しみやすい色使いに配慮。

3 提案の創意工夫について

<p>提案内容におけるアイデアやユニークさ</p>	<p>普請事業提案計画地にある里山の原風景や水辺と一体化した調和のとれた遊歩道や憩いの場になるように計画をした。また環境に影響がないように木材を全て使用することを考えている。</p> <p>施設を訪れた人がこの地域の財産である里山を中心とした自然に触れ合い、楽しめる事を第一に考え、遊歩道では水辺にいる生き物を観察できるような活動の場も設けている。</p> <p>普請事業の計画・実施・利用・維持管理等、全ての場面において地域のコミュニティーがはかれるようにした計画である。</p>
<p>提案を実現するために必要と考えられる地域の資源（ヒト・モノ・カネ）のうち、現在すでに獲得し、今回の提案で活用するもの 注4)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ヒト・・・この里山を中心とした自然を残し、身近に感じたいと思う気持ちは多くの地域住民がもっている。すでに多くの地域住民の協力が得られている。熊ヶ谷小川アメニティー水辺愛護会、奈良まちづくりの会、自治会の協力が得られる。建築の専門家（1級建築士）がいる。 (労力の協力が得られる) ・モノ・・・整備に必要な資材の調達できる建築業者がいる 整備に必要な道具 ・カネ・・・なし。
<p>提案を実現するために必要と考えられる地域の資源（ヒト・モノ・カネ）のうち、現在は不足しているが今後獲得していきたいもの 注5)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ヒト・・・地権者との合意形成を図りたい。 横浜市の協力を得たい ・モノ・・・整備に必要な資材 ・カネ・・・地域住民等の寄付金 自治会、各団体の資金的な支援・援助
<p>整備した施設の維持管理や運営に、提案グループや地域住民等がどのようにかかわっていきみますか？</p>	<p>今回提案したメンバーや参加した地域住民、ボランティア団体である「熊ヶ谷小川アメニティー水辺愛護会」、「奈良まちづくりの会」、などと自治会が連携しながら、維持管理や清掃などを行う。</p> <p>また、課外活動や自然観察会など、里山がある自然を活かした活動が期待できると共に、地域間交流や世代間交流などの場として、地域に密着した施設として利用される。</p>

注4)「地域の資源のうち現在すでにあるもの」とは、次のようなものを想定しています。

- 「ヒト」の例
 - ・地域のPTAから協力を受けられそう。
 - ・地域に設計の専門家がいます。
- 「モノ」の例
 - ・整備に必要な材料を安く入手できそう。
 - ・整備に必要な建設機械を安く借りられそう。
- 「カネ」の例
 - ・自治会町内会から資金的な支援を受けられそう。

注5)「地域の資源のうち現在は不足しているが今後獲得していきたいもの」とは、次のようなものを想定しています。

- 「ヒト」の例
 - ・地権者の了承を得たい。
 - ・整備工事を手伝ってくれる人を集めたい。
 - ・市や区の協力を得たい。
 - ・専門家の協力を得たい。
 - ・整備した施設の維持管理を行う組織を地域につくりたい。
- 「モノ」の例
 - ・整備に必要な材料を安く入手できる方法を考えたい。
- 「カネ」の例
 - ・地域でバザーを企画するなど、少しでも資金を集める方法を考えたい。

4 計画性について

整備提案を応募することについて、地権者（土地所有者、借地権者）や実質的に使用権利を持っている人、会社又は行政機関の対応状況を記入してください^{注6)}

今回提案する普請事業計画地は横浜市が土地所有者であるため、担当部署である環境創造局に普請事業への参加意思を電話にて伝えた。その際、詳しい内容を後日説明する旨を伝えた。

土地所有者に今回の参加の件連絡済。

注6) 事前に必ず地権者等に整備提案の内容及び1次コンテストに応募することについて説明してください。

2次コンテストに向けた活動計画（打合せ、勉強会、地権者・近隣住民・自治会町内会・関係機関への説明及び合意形成、2次コンテストの応募書類準備など）を具体的に記入してください

6 月	活動助成金の交付申請 地域住民への普請事業結果のお知らせと参加呼びかけ メンバーによるスケジュール等打合わせ 基本計画書の作成
7 月	“遊歩道と憩いの場”の整備ワークショップ（第1回） 基本計画書の作成 土地所有者（地権者）への説明会
8 月	“遊歩道と憩いの場”の整備ワークショップ（第2回） 基本計画書の作成 土地所有者（地権者）への説明会

9 月	<p>“遊歩道と憩いの場”の整備ワークショップ（第3回） 基本設計図の作成 土地所有者（地権者）への説明会 2次コンテスト応募書類作成 概算予算書の算定（見積書作成）</p>
10 月	<p>2次コンテスト応募書類作成 基本設計図作成</p> <p>2次コンテスト応募書類提出</p>
11 月	<p>土地所有者（地権者）との最終打合せ（合意形成） 基本設計図作成</p>
12 月	2次コンテスト

5 特にPRしたい点について

<p>提案について特にPRしたい点があれば、自由に記入してください</p>	<p>今回提案する普請事業は、整備提案名通り“自分たちの手でまちづくり”ということで、提案した計画の多くを参加メンバーや奈良エコキッズ（環境省推奨の子供エコクラブ・登録済み）の子供たちや地域住民等で作成しようと計画しています。地域住民には、1級建築士が4人もいて、また労力に対しては多くの地域住民が協力することが考えられる為、計画・施工は、ほぼ自分たちの手で出来ると考えています。</p> <p>なぜ“自分たちの手でまちづくり”なのかというと、この里山が残る自然環境の中で、自分たちの手でつくることにより、自然に親しんだり、改めて自然のすばらしさを感じたり、後世に伝えるべき自然だと思ったり、いろんな思いで各人が作業をします。このことにより、この地域の財産である横浜に残された里山を中心とした自然が今後も残されることを多くの人が期待するからです。</p> <p>また、地域住民によって完成することにより、より一層、地域の輪が構築され、地域に根付いた普請事業が出来ると考えられます。</p> <p>普請事業を提案・計画をすることで、地域住民等をつくることで、整備した施設を利用することで、多くの場面で地域のコミュニケーションをはかることができると思われます。</p> <p>これこそが地域住民による普請事業ではないかと思われます。</p>
---------------------------------------	--

記載内容について、次の内容を確認後チェックボックスに✓を入れてください。

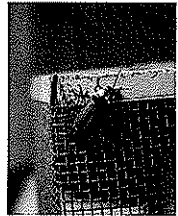
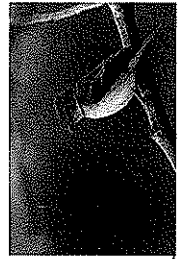
- 記載内容は真実であり、虚偽はありません。
- 記載内容に個人情報はありません。

1. 奈良エコ活動レビュー ① 奈良エコキッズキックオフ

青葉 奈良エコチーム

1. 我がまち、我がチーム

我が青葉区奈良地区はこどもの国に近く、横浜市都市計画のマスタープランに指定されている緑の7大保全拠点の一つに位置します。多くの希少動物が住む自然も、宅地開発により年々緑が縮小しております(下図参照)。今回の普請事業は、最後に残された横浜の原風景である里山を守ろうと、この地で活動する3団体がチームを結成し行うものです。

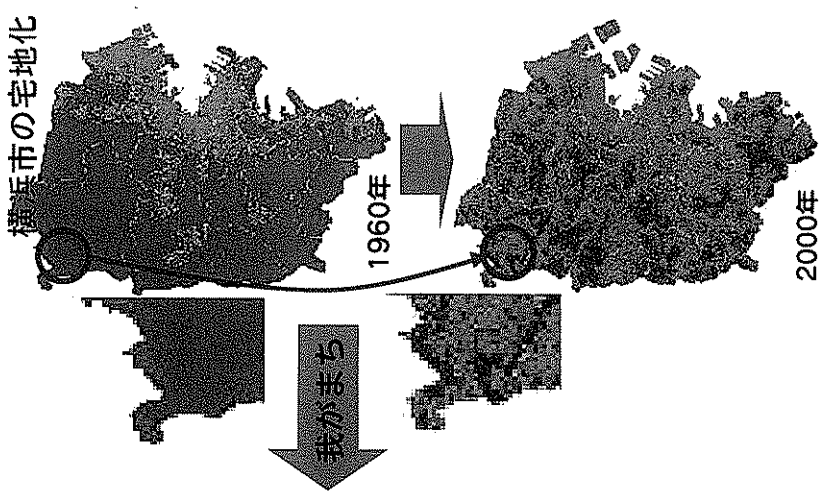


奈良エコキッズ

奈良まちづくりの会

小川アメリテイ愛護会

【普請計画地】

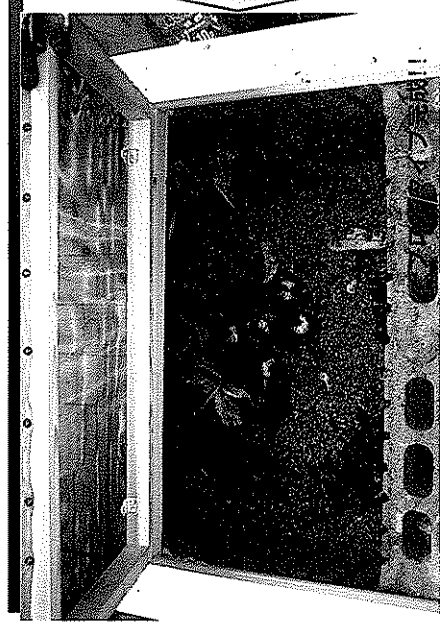


横浜市の宅地化

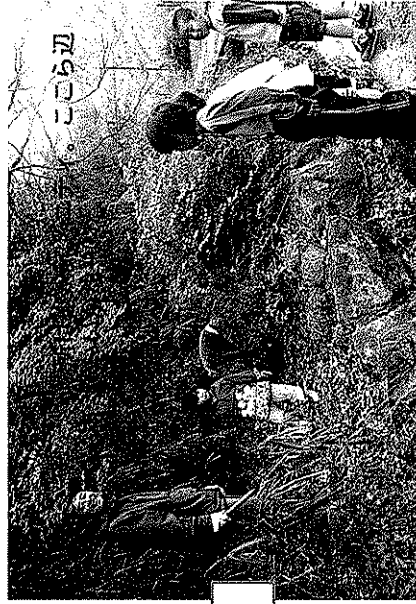
「わたしたちの環境」横浜市環境保全局より引用

2. 奈良エコ活動レビュー ②カブトムシ飼育小屋

青葉 奈良エコチーム



① 昨年の普請事業でプロットタイプを作成しプロの指導を受け野生の幼虫の飼育開始



② 事業計画に基づき、奈良エコキッズクラブを立ち上げ、自費、自力でカブトムシ小屋を作成。自然飼育開始。

